

朝日の山並み

発行
朝日少年自然の家
電話
0237(62)4125
Fax (62)4126
ホームページ
山形県朝日少年自然の家
で一発検索

チャレンジキャンプ2017 8/2(水)~8/7(月) 5泊6日 笑顔、そして感動のサマーテイズ!

今年度も、『チャレンジキャンプ 2017』が開催され、元気いっぱいの小中学生30名が参加してくれました。大自然の中で初対面の仲間と6日間協力し合ったことで絆が芽生え、身も心もたくましく成長しました。最終日「別れのつどい」でのみんなの「涙」も、体験したものが味わえる感動の一場面でした。

8月6日(日)は、最上川での「いかだ下り」にチャレンジしました。初日に班ごとに自作したいかだで最上川にこぎ出し、周りの景色を楽しんだり仲間と掛け声を合わせながらいかだをこいだりました。

川岸からのたくさんの応援や橋の上からの「アイス」の差し入れもあり、炎天下の中約10km川下の中山町せせらぎ公園にゴールすることができました。

最上川下り



最上川下りの後は、フェアウェルパーティーを行いました。班の出し物もあって会場は大盛り上がり! たくさんのごちそうをおいしくいただいた後は、みんなで花火とスイカ割りをしてチャレンジキャンプ最後の夜を楽しく過ごしました。



月山登山



8月4日(金)の月山登山に向け、前日から志津野営場でのテント泊となりました。当日は、月山リフトから下の世界が雲海に覆われ、登山道から山頂にかけては見事に晴れ渡るという素晴らしい眺めの中、全員が自力で頂上まで辿り着き、無事下山することができました。

サポーターの方々の支えや仲間同士の励ましの声に勇気づけられて立つことのできた1984mの山頂から見た景色は、忘れることのできない思い出の1ページとなったことでしょう。

朝日わくわく広場④

カヌーで遊ぼうin月山湖

7月17日(月)海の日、西川町の月山ダムにて「カヌー体験」を行いました。サポーターの細谷信太郎さんを講師にお迎えし、初めてカヌーに乗る参加者にも丁寧に教えていただきました。いざ湖面に出ると、コツをつかんでどんどん進んでいく子がほとんどで、水の上で鳥の鳴き声を聞きながら、ゆっくりとした時間が流れているようでした。雪解け水の流れ込みでの水遊びや桟橋からのダイビングも体験でき、とても満足した表情で1日を過ごしていました。



山形県朝日少年自然の家 土屋常義 所長 「つねさん」のひとり言!

『拍手(はくしゅ)』ってどんな時にするのか?

『拍手』は日本では明治時代からされるようになったようですが、手を叩くことにより賞賛(ほめる)・歓迎(こころよく迎える)・感激・感謝の時などを表現する行動と言われています。

このたびのチャレンジキャンプ2017でも、一緒に活動してきた仲間の言動に、自然な形で拍手をおくる子どもたちの姿に、心温かなる感動を覚えました。

これは、このチャレンジキャンプ期間中、様々な場面で、「喜びや悩みなどを共有し、それを自信にしたり、乗り越えたりしたからこそ自然にとれた行動である」と思うと、とても嬉しくなりました。

「人」は、漢字のつくり「人」のごとく、支え合って生きています。人は一人ではありません。常に、「支え合い、助け合い」を大切にして生活してきました。

皆さん・・・、学校や地域、家で生活の中では、楽しいことばかりではなく、悲しいことや苦しいこともあるでしょう。でも、そんな時考えてみてください。「人は一人ではないということ・・・」

『ちゃんと誰かが見てるから・・・、必ず必ず見てるから・・・』

そんな心のゆとりが、「お友達に素直な拍手が贈れる」すてきな行動につながっていくのではないかと感じています。



今後のイベントのご案内

朝日わくわく広場⑦「大人のトレッキング」

9月24日(日)
紅葉に合わせ秋の野山を満喫します。
場所: 蔵王連峰。
対象: 一般成人 20名



朝日わくわく広場⑧「朝少フェスタ2017」

9月30日(土)~10月1日(日)
朝少の秋祭りです。参加者がいろいろな屋台(チョコバナナ・射的など)の準備や運営を通して、地域の方々と交流します。自然の家に1泊するのも大きな楽しみのひとつです。
対象: 小学4年生~中学生 50名

